

平成 29 年度第 2 回春日井市地域公共交通会議議事録

- 1 開催日時 平成 30 年 2 月 19 日（月曜日）14 時 00 分～15 時 30 分
- 2 開催場所 春日井市役所 12 階大会議室
- 3 出席者
 - 【会 長】 中部大学 工学部都市建設工学科教授 磯部 友彦
 - 【委 員】 名鉄バス株式会社 取締役副本部長 近藤 博之
 - 近鉄東美タクシー株式会社
 - 運輸部長春日井営業所長 相川 敏行
 - 愛知県タクシー協会 春日井支部長 奥村 薫績
 - 春日井市区長町内会長連合会 副会長 安達 昭夫
 - 春日井市民生委員児童委員協議会 会計 馬上 貴美子
 - 春日井市老人クラブ連合会 副会長 所 信雄
 - 春日井商工会議所 副会頭 木野瀬 吉孝
 - 社会福祉法人春日井市社会福祉協議会 会長 黒田 龍嗣
 - 春日井市婦人会協議会 書記 伊藤 月美
 - 国土交通省中部運輸局愛知運輸支局
 - 首席運輸企画専門官 杉本 忠久
 - 愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事 伊藤 匠二
 - 愛知県春日井警察署 交通課長 山下 正幸
 - (代理 桑原 賢治)
 - 愛知県振興部交通対策課 主幹 桑原 良隆
 - (代理 浅井 幹代)
 - 春日井市建設部 道路課長 鈴木 誠司

 - 【発表者】 高蔵寺ニュータウンセンター 取締役 裏見 敏郎
 - 事業部長 小池 宗則
 - 事業課主幹 木村 俊夫
 - 事業課 水谷 有人

 - 【事務局】 春日井市総務部交通対策課 課長 梶田 岳宏
 - 課長補佐 金田 浩
 - 主査 花井 輝年
 - 主事 安永 陸人

4 議題

- (1) 協議事項 サンマルシェ循環バスの見直しについて
- (2) 報告事項1 かすがいシティバス利用状況について
- (3) 報告事項2 市内公共交通に関するアンケートについて
- (4) その他

5 会議資料

- 資料1 サンマルシェ循環バスの見直しについて
- 資料2 かすがいシティバス利用状況について
- 資料3 市内公共交通に関するアンケートについて
- 資料4 春日井市地域公共交通会議委員名簿
- 資料5 春日井市地域公共交通会議配席図

6 議事内容

- (1) 協議事項 サンマルシェ循環バスの見直しについて
 - 【発表者】 資料1に基づき、説明した。
 - 【磯部会長】 委員に発表者に対する意見を求めた。
 - 【奥村委員】 バス停を「グルッポふじとう」の近くに作ることはできないか。
 - 【発表者】 施設近くまで行くことも検討したが、経路延長やダイヤ改正による影響が考えられ、現時点では今回示した箇所に設置する。今後については、検討をしていく。
 - 【黒田委員】 利用者の意見等を勘案し検討するということか。
 - 【発表者】 そのとおりである。
 - 【奥村委員】 前向きに検討をお願いしたい。
 - 【磯部会長】 道路状況はどうか。また「グルッポふじとう」の敷地内での転回は可能か。
 - 【事務局】 現在の車両であれば通行は可能であるが、路上駐車等があると通行が困難になる。また、敷地内での転回については、駐車場確保に苦慮しており、転回場の確保は不可能な状況である。
 - 【磯部会長】 利用者の意見等を参考にして今後も検討してほしい。

その他意見や質問はなく、協議事項1については、全会一致で承認された

- (2) 報告事項1 かすがいシティバス利用状況について
 - 【事務局】 資料2に基づき、説明した。
 - 【磯部会長】 東環状線全体では利用者は多いが、路線が長いため、利用が多い区間と少ない区間を比べるなど、今後も検討してほしい。

【杉本委員】 春日井市は名鉄バス等路線バスが走っており、情報共有しながら市内の交通について検討してほしい。

(3) 報告事項2 市内公共交通に関するアンケートについて

【磯部会長】 委員に発表者に対する意見を求めた。

【杉本委員】 将来車に乗らなくなればバスを利用するという意見の人も、実際には乗らないことが多い。今のうちからバスに乗ってもらう習慣をつけてもらうことが大切である。

また、立地適正化計画のみで、交通の方向性を決めることができるのか疑問である。地域公共交通網形成計画についても検討してほしい。

【事務局】 春日井市では平成30年4月から都市政策と交通の分野を一本化する組織改正を行う。市の総合計画の中で都市基盤整備の推進と公共交通の整備とあり、都市計画マスタープランの中で交通のあり方を検討したいと考えている。その中で必要であれば交通に関する計画を検討していかなければならないが、まずはまちづくりの観点で交通について考えていきたいと考えている。

【木野瀬委員】 高齢者の回答が多い。アンケートを答えていない世代の意見も聞く必要があり、通勤通学等についても考える必要があるのではないかと。

【磯部会長】 行政の調査は立場が弱い人を重視したものになる傾向がある。若い世代の利用等、総合的に検討する必要がある。

【木野瀬委員】 通勤通学時間帯は駅利用者のためのバスを走らせ、日中は高齢者向けのバスを走らす等、様々な方法を検討してほしい。

【事務局】 シティバスのダイヤは、春日井市民病院の診察時間に合わせ午前8時過ぎに到着する設定となっている。市民病院へ行くためにシティバスを利用する人が大変多く、利用者にとってメリットがあると考えている。

【磯部会長】 シティバスの当初の目的はそこであったが、今後どうするかは議論していく必要がある。

【木野瀬委員】 立地適正化計画に基づいた路線構築について議論していく時期ではないかと。

【奥村委員】 近所のまち医者で受診した後、市民病院に診察を受けに行くケースが多いと思うが、そうしたまち医者を利用できるような路線にするのか。

【事務局】 具体的にどのような路線にするか現時点では決まっていない。将来的には市のまちづくりや既存の民間バスとのネットワーク化を進めていく中で検討していかなければならないが、時間を要するため、今回の会議の議論を踏まえ、当面は平成31年10月を目安に、シティバス見直しに向けて検討していく。

【杉本委員】 系統、路線、便ごとの役割を見直していく必要がある。移動しやすいまちの形成のため、民間バスとの連携は必要である。北名古屋市で運行している「きたバス」は、朝夕は通勤通学、昼間は通院・買い物のためのバスとなっている。より使ってもらえる路線とするため、民間バスと

の競合防止等も考慮して検討する必要がある。

【安達委員】 一度のったら便利だったという意見も多く、そうした人を増やすことが重要ではないか。バスを普段使わない人をモニターにアンケートを行ってもよいのではないか。

【磯部会長】 利用周知という点で、バス教室はどのように行っているか。

【杉本委員】 自治体で行うケースが多く、子ども向けの教室であれば一緒に大人も参加し、高齢者向けの教室であれば一緒に子どもが参加するケースも多い。実際に乗車してもらおうと、時刻表を見るだけでは分からないことも分かるため、非常に重要である。

【磯部会長】 今後も名鉄バス等、民間バスと協力して行えると良い。

まちづくりはコンパクト化が主流であるが、徐々に進めていく必要がある。春日井市は鉄道も充実しており、そうした利用者も含めて市内の交通を考える必要がある。

【木野瀬委員】 北名古屋市等の事例を参考にしてはどうか。また、行政だけではなく、既存のバスやタクシーとの連携を図りながら検討していく必要がある。

【事務局】 春日井市と北名古屋市では民間バスの路線状況等が違う。春日井市では路線バスが市内全域で運行しており、それを補完するためシティバスを走らせている点をご留意していただきたい。

【奥村委員】 民間事業者は行政との調整を現在も行っており、今後も継続していく。

【磯部会長】 春日井市は路線バス等が充実しており今後も議論をしていければよい。

(2) その他

【近藤委員】 バス利用周知について、資料「名鉄バス路線図」に基づき説明した。

上記のとおり平成29年度第2回春日井市地域公共交通会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者1人が署名及び押印する。

平成30年2月27日

会 長 磯部 友彦

署名人 黒田 龍嗣